

ようこそ畑へ

2010年4月28日(水)

ファーム伊達家・旬の野菜セットに、お申し込みをいただきありがとうございます。

野菜のお届けは6月下旬からですが、今の畑の様子などをお知らせするため、ファーム伊達家からのおたより「ようこそ畑へ」(VOL. 1)をお届けします。

【対記】

南区豊滝にあるファーム伊達家の畑は、標高約300メートルにあり、皆さんのがお住まいのところより雪融けが遅く、ようやく畑の雪が融けました。もう少し土が乾けば、耕耘機で畑を耕す作業ができるそうです。

今の農作業はハウス内での苗作りが中心です。自分で作った種まきスケジュールにしたがって少しずつ種を播いて、水やりをしたり、温度をみながらビニールハウスを開け閉めしたりする作業をしています。

今年の春は、気温が低く、全般的に春作業が遅れているようで、今後の生育の遅れが心配されています。この低温は、もちろん伊達家の畑にも影響があって、3月末に家の中で育て始めた、トマト、ミニトマト、ナス、ピーマンの生育が少し遅いようです。ただ、伊達家の畑では、野菜は採れた時に、採れた分だけ、ありがたくいただくという風に考えているので、ここは焦らず、天候を恨まず、苗を保温するための保温箱を作ったり、ビニールトンネルを用意したり、ビニールハウスの温度をこまめに確認したりして、出来る限りの手は尽くして、あとは結果を受け入れる、そんな風に考えながら、できるだけ落ち着いた気持ちで畑に向かうように努めています。

雪が融けた畑の畦(あぜ)には、ふきのとうが顔を出しており、先日、子供たちがふきのとうを探ってくれます。

子供たちを連れて畑に行くと、長女が「お父さん、ビニールちょうどい。」と言うので、袋を渡しました。斜面も苦にせず、楽しそう

にふきのとうを探り始めました。この畑を耕し始めた5年前は、野菜と野菜の間をハイハイしていたのですが、長女は、今年、幼稚園の年長になりました。ずいぶんと大きくなつたなあと思いました。

子供たちが採ってくれたふきのとうは、愛子が天ぷら、味噌汁、ふきのとう味噌にしてくれて、家族でおいしくいただきました。ふきのとうを食べると春が来たということを実感します。もう少しすると畑の周りでは、ヨモギが採れます。子供達はヨモギ団子を楽しみにしています。

こうして、まず私たち家族が自然の恵みを感じながら生活し、畑で農作業に取り組み、皆さんの食卓においしい野菜をお届けすることを通して、共に季節の恵みを感じていけるよう伊達家一同力をあわせて頑張って行きますので、どうぞよろしくお願いします。

【愛子】

「今年の春は寒いけどお野菜はどうですか?」と何人かの方に声をかけていただきました。暖かい日が少なく、お日様もあまり出でていないように感じる4月でしたが、着々と畑仕事は進んでいます。

ビニールハウスの雪割りから始まり、ビニールを張り、土をふるい、種まきをしていきます。ハウスの中は土のにおいがたちこめ、外よりも暖かく、またこの季節が来たぞー、という気持ちになります。

私達は、この春で6年目のシーズンを迎えることができました。多くの方々に助けていただきながら、なんとかここまでこれたなあ、というのが正直なところで、本当に感謝しています。今年も、畑を見つめ、自分を見つめながら、今年も安全でおいしい旬の野菜をお届けしたいと思います。

最近では、私達の取り組む自然栽培に関心を持たれる方が増えたなあと思います。自然栽培に関心を持ってもらえるのはうれしいことです。さらに、農業そのもの興味を持って、ご家庭の庭やプランターなどに好きなお野菜や花などを植えて、楽しんでみてほしいなあと思います。

今年も頑張ります。どうぞよろしくお願いします。